

# 北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第15号

平成23年(2011年)12月発行



## 北斎と江戸

### ―年越しの音風景―

江戸後期に活躍した葛飾北斎は、約七十年にわたる画業を通して、森羅万象を絵筆で捉えようとした。作品の中には、楽器や演奏風景を描いたもの、さらには生活の中のさまざまな「音」を表現したものも数多く見られ、北斎が音に並々ならぬ関心を寄せていたことがうかがえます。

そこで墨田区と墨田区文化振興財団は、日本音楽の研究者である茂手木潔子氏の企画協力を得て、北斎が描いた音楽に関する作品を通じて、北斎が活躍した時代の音楽などを紹介する邦楽演奏会「北斎の音楽を聴く」を平成二十一年に始めました。

シリーズ三回目となる今回は、北斎の作品に描かれた江戸の音風景を再現し、

角兵衛獅子を歌舞伎舞踊に取り入れた「越後獅子」や、今号で紹介する絵に見られるような、江戸の獅子舞などを上演します。

今回の演奏会のPR用画



狂歌絵本『画本狂歌 山満多山』下冊より「獅子舞」

像として選んだこの絵は、享和四年(一八〇四年)、北斎が四十五歳のときに刊行した狂歌絵本『画本狂歌 山満多山』に収載された挿絵の一図です。新年から

年末までの江戸の山の手の情景と風俗をテーマとしたこの本の最後を飾る本図は、年越しの往來の様子を描いたもので、雑踏の賑わいに混じって笛や太鼓のお囃子が聞こえてくるようなひとこまです。また、この本を制作した時期における北斎の画風は、楚々とした美人や画面全体に漂う上品な雰囲気の特徴として挙げられますが、そうした特色が本図にも見て取れます。

【発行】  
墨田区区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎ 03-5608-6115

【編集協力】  
財団法人墨田区文化振興財団  
北斎担当

ふれあい活力1970

すみだ



すみだ北斎美術館

# 「日独交流一五〇周年記念北斎展」終了

ドイツ連邦共和国ベルリン市で開催していた「日独交流一五〇周年記念北斎展」(主催：墨田区、国際交流基金、日本経済新聞社ほか)が盛況のうちに十月末日をもって終了しました。

会場には、連日多くの観覧者が訪れ好評だったことから、会期を一週間延長し、最終的には、五十八日間で九万五〇〇〇人の方々が来場しました。



墨田区は、所蔵する北斎作品の中から約五十点を出品し、そのうち「富嶽三十六景 甲州石班澤」が、展覧会のポスターや図録の表紙を飾るなど、本展覧会を通じて、北斎生誕の地「すみだ」

を国際的にPRすることができました。

## すみだ発! 北斎 ポジナルグッズ ① 紗蔵 北斎シリーズ

墨田区では、区内でものづくりに関わる方々の商品開発の一助となるように、すみだ北斎美術館(平成二十七年年度開館予定)に収蔵する北斎作品の画像を商用目的でご利用いただく事業を行っています。

今回、紹介する「すみだ発!北斎オリジナルグッズ」は、カードケースやパスケースなどの革製品シリーズです。

素材には、区内で製造されているエコレザー(植物タンニンを使ってなめしたピッグスキン)を使用。すみだで作られた「キャンバス」に、すみだで生まれた



展覧会ポスター

北斎の「絵」をデザインした、まさに「メイド・イン・すみだ」の一品です。



カードケース

### 【商品に関する問い合わせ】

紗蔵

☎03・3625・6907

### 【画像利用に関する問い合わせ】

(財)墨田区文化振興財団

☎03・3829・4122

## 邦楽演奏会

### 「北斎の音楽を聴くⅢ〜初春・江戸」

#### 【開催日時】

平成二十四年一月八日(日)  
午後二時開演(午後一時三十分開場)

#### 【会場】

すみだトリフォニーホール 小ホール

#### 【チケット料金(全席指定)】

三〇〇〇円(墨田区在住在勤在学及びトリフォニークラブ会員は、一五〇〇円)

※満席の場合には、購入いただけませんのでご了承ください。

#### 【出演】

第一部 初春〜江戸の音模様

善養寺恵介(虚無僧尺八)、塩高和之(琵琶法師)、桃川亜紅社中(獅子舞)

第二部 歌舞伎の賑わい

・北斎音風景散策  
阿部よしつぐ(案内)

・歌舞伎舞踊「越後獅子」

西川大樹(舞踊)、杵屋勝四郎・杵屋巳之助・杵屋佐喜(長唄)、杵屋勝国・杵屋勝十朗・杵屋勝国悠(三味線)、藤舎呂英社中(囃子)

#### 【企画監修】

茂手木潔子(有明教育芸術短期大学教授・日本音楽研究)

#### 【問い合わせ】

トリフォニーホールチケットセンター

☎03・5608・1212